

高知近代史研究会第一二二回研究会

大江卓と

中江兆民

— 天衣無縫のヒューマニズム —

国立国会図書館「近代日本人の肖像」より

参加無料
申込不要

令和7
(2025)年2月15日土 13時30分～16時

高知市立自由民権記念館1階 民権ホール

高知市棧橋通四丁目14-3 無料駐車場有

高知近代史研究会と高知市立自由民権記念館では、早稲田大学台湾研究所（『ワセダアジアレビュー』発行元）と共催し、専門研究者を招いて大江卓と中江兆民という二人のユニークな土佐人を取り上げた講演会・シンポジウムを開催します。

■ 講演1

大西比呂志 氏（フェリス女学院大学名誉教授）

「大江卓－在野・辺境・底辺を目指した生涯」

■ 講演2

梅森 直之 氏（早稲田大学政治経済学術院教授）

「中江兆民－理想と時世の空隙にあそぶ飄逸の知識人」

■ シンポジウム・討論

主催 高知市立自由民権記念館、高知近代史研究会、早稲田大学台湾研究所

お問合せ 高知近代史研究会事務局 [Email] kc-052000@city.kochi.lg.jp [TEL] 088-832-7277

大江卓と中江兆民

——天衣無縫のヒューマニズム

日時：令和7（2025）年2月15日（土） 13時30分～16時
会場：高知市立自由民権記念館 1階民権ホール

開催趣旨

同じ年に土佐に生まれ幕末から明治維新という時代を生き、それぞれ変革の道筋を示した大江卓と中江兆民。彼らは人間の普遍的本質をどのように理解し、世界で生きる新しい日本人像を描いていたのでしょうか。二人のユニークな生き方を探りながら、今日的意義を考えます。前半は、『大江卓の研究』で第33回高知出版学術賞を受賞した大西比呂志氏、『兆民先生 他八篇』（幸徳秋水著、岩波文庫）でのわかりやすい解説が評判の梅森直之氏による講演、後半はシンポジウム形式の討論を行います。当日は、最近発見された二人の交流を示す新資料も紹介します。

講師紹介

大西比呂志氏

フェリス女学院大学名誉教授。専門は政治学・政治史。主な著書に、『大江卓の研究－在野・辺境・底辺を目指した生涯』（芙蓉書房出版、2023年）、『伊沢多喜男－知られざる官僚政治家』（朔北社、2019年）。

梅森 直之氏

早稲田大学政治経済学術院教授。専門は日本政治思想史。主な著書に、幸徳秋水著・梅森直之校注『兆民先生 他八篇』（岩波文庫、2023年）、『初期社会主義の地形学－大杉栄とその時代』（有志舎、2016年）。

オンライン配信について

本講演会はオンライン(ZOOM)配信を行います。
オンラインでの聴講を御希望の方は右QRコードまたは下記URLより
講演会当日正午までにお申込みください。



https://apply.e-tumo.jp/city-kochi-kochi-u/offer/offerList_detail?tempSeq=13106